

辟

辟は、**𡗗** (ヘキ) と口との形声字。口は丸い玉の象形で、**𡗗**の本字。辟は“丸い玉”が本義です。また、**𡗗**の意味にも使われます。辛は、**𡗗**で、受刑者に施す **黥** ^{いれずみ} をするのに使う針の象形です。転じて“つらい”意味に使われる字です。辛苦。**𡗗**は、**𡗗** (尸) に**𡗗**を施すという意味の字で、“罰する”ことを表わした会意字です。

璧は、丸い玉のことです。辟が“罰”の意味に使われるために、玉を加えてこの字を作ったものです。**双璧** ^{ソウヘキ} (二人のすぐれた人物のたとえ)。**完璧** ^{カンペキ} (完全無欠)。

避は、罰の意味の辟と辵との会意形声字です。罰からはだれも遠ざかりたいというのが人情なので、“さける”という意味になります。音は辟 ^{ヘキ} が変化したとです。避難。避暑。逃避。

僻は、“罰を受けた人”という意味の辟と人との会意形声字です。こういう人は、とかくひがんだり、片寄った見方をしますので、“ひがむ”“かたよる”という意味を表わしました。音は辟 ^{ヘキ} です。僻見。僻地。

壁は、避の意味の辟と土との会意形声字です。風や寒さを避けるために設けた土の障壁、つまり“かべ”のことです。音は辟 ^{ヘキ}。壁画。城壁。絶壁。

癖は、癖の意味の辟と疒との会意形声字です。“片寄った病気”という意味で、好みなどの片寄りを言うようになりました。“くせ”。酒癖。盗癖。潔癖。

譬は、避の意味の辟と言との会意形声字です。物事を直接に言うことを避けて、類似の例によって説明すること。“たとえ”。譬喻 (引き比べて言うので、比喻とも書く)。

臂は、辟と肉との形声字で、“ひじ”のことです。婦人がいやな男を避けるために“臂鉄砲”を使うのは、漢字の構造から見ても誠によく適っています。

闢は、門の両扉が互に避け合うように“ひらく”ことを表わした字で、辟と門との会意形声字です。門の扉を左右に“おし開く”のが本義です。天地開闢 ^{カイビヤク} (宇宙の初め) などと使われます。音は辟 ^{ヘキ}、呉音はビャク。

劈は、“力で切り開く”という意味の会意形声字です。つんざくこと。闢と同じように、“ほじめ”の意味にも使われます。劈頭 ^{ヘキトウ} (一番初め)。

霹は、雷鳴の“つんざく”ような音を言います。雷の意味の雨と、劈の意味の辟との会意形声字です。青天の霹靂 (青空の雷鳴は突然の変事を譬えたもの)、というように使われます。